発言順位	8 番

一般質問発言通告書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

令和２年　６月　９日

三島市議会議長　大房　正治　様

三島市議会議員　５番　　野村　諒子　印

質問事項１	新型コロナウイルス流行時の検査体制と、感染防止への取り組み

具体的内容　静岡県に出されていた緊急事態宣言が５月 14 日に解除され、少しずつ街中にも人の流れが戻ってきました。しかし、早くも秋以降の第２波の感染拡大が心配されています。

三島市は、第１波では陽性感染者として表面化した人は１人でしたが、首都圏への通勤通学も多く、「感染者がいなかったとは言えないのではないか」と不安に思う市民も多いと思われます。そこで、感染が沈静化した時期に、感染状況の実態を把握することも必要と考えます。

また、東京都など感染者の多い都道府県では、病院内感染や高齢者施設内でのクラスターの発生などにより、多くの死亡者が出ました。そこで、第２波に備えて、高齢者施設等に対し、重点的に検査ができるような取り組みが必要と考えます。そこで、流行時の施設内での感染及びクラスター発生防止への取り組みを伺います。

１．三島駅を利用する首都圏への通勤通学が多い事をどうとらえているか。
２．通勤通学者への抗体検査はできないか。
３．三島市医師会と感染状況を把握する検査、防止に対する協力体制は取れないか。
４．流行時の高齢者施設に対し、重点的に感染状況把握の検査体制を整えられないか。
５．高齢者施設で感染者が出た場合、感染拡大を防ぐ取り組みは何か。
６．三島市の新型コロナウイルス感染防止対策の課題と取り組みは。

質問事項２	今後の三島市のまちづくりの方向性について

具体的内容　新型コロナウイルスの感染が世界中に広がったことにより、これまでの生活を一変させる影響が様々な分野で起きています。

これまでの産業の革命で、人は目に見える物への価値と所有することによる満足感を求めてきました。しかし、外出が思うようにならない自粛生活の中で、新しい生き方や価値観も生まれてきています。このような世の中の変化の中では、新しい考え方を導入することにより、三島市の新しい生活スタイルや、新しい価値観を取り入れたまちづくりを進めることで、より魅力的なまちになり、若い世代にも選ばれる可能性も考えられます。そこで、今後のまちづくりの方向性について、どう取り組んでいくのか、伺います。

１．新型コロナウイルスによる、三島市のまちづくりに関する影響は何か。
２．これからの生活スタイルに合わせた、三島市の魅力をどう考えていくか伺います。